

平成28年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	多久市立西溪小学校（小中一貫校東原庁舎西溪校）		
2 所在地	多久市多久町1784番地1		
3 校長名	吉崎 泰		
4 学級数 児童生徒数	8 学級 175 人	5 実施学年 児童生徒数	4 年 32 人

6 取組のねらい

- ・地域にある福祉施設『しみず園』を訪問し、入所者と交流を図る。
- ・福祉施設を見学し、バリアフリーについて学習すると共に、働いている人達の願いや入所者の思いを聞き、自分たちに何ができるかを考えさせる。

7 取組の実際

しみず園に着くとすぐに、たくさんの入所者の方々や職員の方々の出迎えを受けました。みんなで元気に挨拶をしました。

（1）インタビュー

しみず園の職員の方々にインタビューをしました。「24時間、施設で働いている」「想像したよりも職員の数が多い」「毎日散歩したり、農業をしたりしている」「36種類の野菜を作っている」などの回答に、児童たちはびっくりしていました。

（2）入所者との交流会

この日のために、総合的な学習の時間を利用して、入所者の方と触れ合うことができる出し物を考え、練習をしてきた。



<踊りの披露>

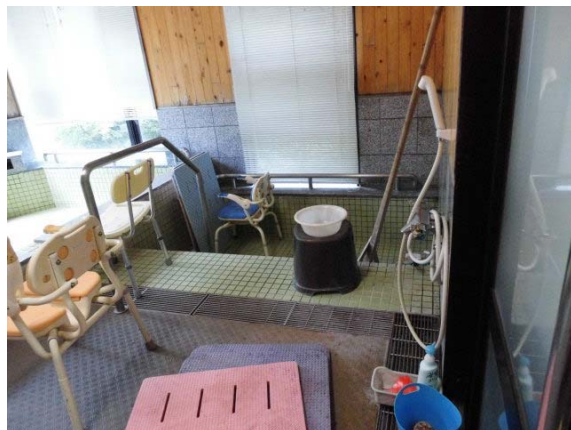


<グループごとに本の読み聞かせ>

まず、全員で「嵐」の「GUTS!」を踊りました。入所者の方が手拍子をしてくれたおかげで、練習の成果を十分に発揮して踊ることができました。次に、本の読み聞かせです。熱心に聞いていただきました。最後に、一人一人が入所者の方との触れ合いです。あいさつをして、じゃんけんしたり、肩をたたいたりして、楽しいひと時を過ごしました。入所者や職員の方から、「ありがとう」と言われて、児童も嬉しそうでした。

(3) 施設の見学

交流の後は、職員の方に園内の施設を案内していただきました。毎日の食事は、入所者の身体のことを考えた献立になっていること、スプーンなどは握りやすいUDの商品もあるということなどの説明を受けました。風呂は、決まった曜日にしか入れないが、車いすでも中に入れること、段差がほとんどないことなどがわかりました（下の写真）。



<児童の感想>

- ◎働いている人は、しっかりとした目標ややりたいことなどがあって、働いているんだなと思いました。
- ◎肩もみをしたら、とても喜んでくれてよかった。
- ◎障害を持っている方のことをよく考えていた。特に食堂は、食べ物をかめない人も食べられるようにしていて、良く考えているなと思った。
- ◎おじいちゃんおばあちゃんと触れ合えてよかったなと感じました。
- ◎しみず園を見学して、こんなに中って広いんだなと思いました。びっくりしたのは、中に髪を切る場所があったことです。

8 取組の成果と課題

(1) 成果

これまで福祉の学習を授業で行ってきた中で、児童たちが疑問に思っていたことや、授業では想像もしなかったことが、実際にインタビューしたり、施設を見学したりして児童たちがよく理解していった。

また、しみず園に行って福祉の勉強をしたいという児童がたくさんいた。

(2) 課題

しみず園で学んだことを、日常の生活の中でどう実践していくかが課題である。単発の取組にならないように、2学期は障害者支援センター「まや」を訪問して、さらに福祉の学習を深めていきたい。